

グリーンイノベーション基金事業／次世代デジタルインフラの構築 IoTセンシングプラットフォームの構築

事業の目的・概要

2030年までに以下の研究開発を通して端末におけるエッジコンピューティング技術を開発し、システム全体の消費電力量を40%削減する。

- ① エッジ信号処理技術の開発
- ② ソフトウェア開発キット（SDK）およびプラットフォームの開発
- ③ ハードウェア基板の開発
- ④ アプリケーション実証

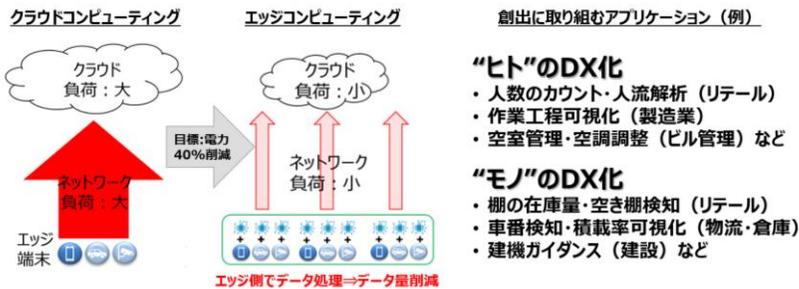
実施体制

ソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社

事業期間

2023年度～2030年度（8年間）

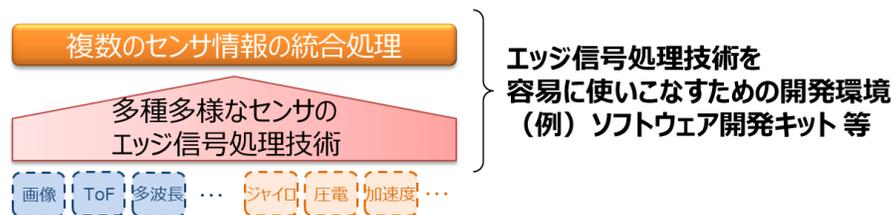
事業イメージ



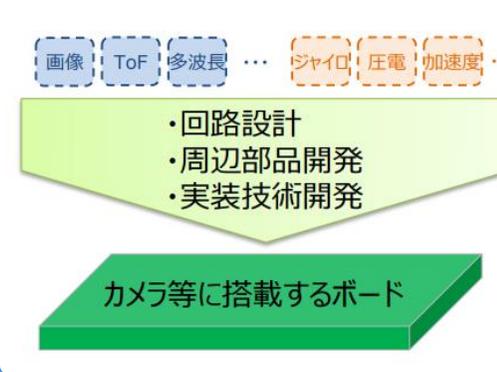
事業規模など

- 事業規模：約926億円
 - 支援規模*：約569億円(①110億円、②360億円、③95億円、④4億円)
- *インセンティブ額を含む。今後ステージゲートでの事業進捗などに応じて変更の可能性あり。
- 補助率など：（全てインセンティブ率10%）
 - ① 9/10委託→2/3助成→1/3助成
 - ② 2/3助成 →1/2助成→1/3助成
 - ③ 2/3助成 →1/2助成→1/3助成
 - ④ 2/3助成 →1/3助成

①エッジ信号処理技術の開発、②SDKおよびプラットフォームの開発



③ハードウェア基板の開発



④アプリケーション実証

- ・ヒトDX、モノDXに資するアプリケーションを開発
- ・製造業、リテール、物流、スマートシティ、ビル管理、建設等を適用分野として想定
- ・（ヒトDX例）スマートカメラ設置店舗における、来店客層・回遊動線の可視化と店舗レイアウト最適化